

日本農業史学会

2017年度研究報告会

個別報告 9:00~14:05

第1報告: 9:00~9:40

寒冷地稲作の展開過程における品種の変遷と気候資源の関係—中国黒竜江省の事例—

福原 弘太郎

(東京大学大学院農学生命科学研究科・フランス国立社会科学高等研究院)

第2報告: 9:40~10:20

戦間期ドイツ語圏の有機農業—「生改革運動」における「自然農法」に着目して—

御手洗 悠紀 (京都大学大学院農学研究科)

第3報告: 10:20~11:00

ベトナムの乳業と酪農の関わり

森山 浩光 (放送大学・東京農工大学大学院)

休憩(5分)

第4報告: 11:05~11:45

一次産品の規格化による「規格外品」の発生と加工を通じた新商品の誕生—戦前日本の農作物を中心に

白井 泉 (日本経営史研究所研究員)

第5報告: 11:45~12:25

「京都府農牧学校」の廃校原因について

辻垣 晃一 (京都府立須知高等学校)

昼食(12:25~13:20)

第6報告: 13:20~14:00

戦後日本における農民の農業・農村観の変化—静岡県御殿場市の採卵養鶏農家・杉山肇による現代絵農書の分析を通して—

清水 ゆかり (茨城県農業総合センター農業研究所)

休憩(10分)

シンポジウム

14:15~17:30

解題・司会:

戸石 七生 (東京大学)



「村と請負の500年史 —プレ村時代からポスト村時代まで—」

第一報告:

「中世後期の村落—領主関係についての—考察—頼母子の分析を通じて—」
熱田 順 (中央大学)

第二報告:

「救法」の村請—備後国福山藩領の義倉運営—

平下 義記 (広島経済大学)

第三報告:

「[村請]の近現代史—滋賀県神崎郡栗見荘村—」

坂口 正彦 (大阪商業大学)

コメント: 大栗 行昭 (宇都宮大学)

総会 17:30~18:00 懇親会 報告会・総会終了後

日時

2017年

3月27日(月)

千葉大学園芸学部
E棟2階205教室

